

1名分料金で
2人目無料

最新の実装技術に対応した 放熱設計の進化【LIVE配信】 【アーカイブ配信】

◆日時: 2025年3月13日(木) 13:00~16:00
【アーカイブ配信: 3月14日(金)~3月21日(金)】

◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 株式会社ザズーデザイン 代表取締役 工学博士 柴田 博一 氏
(元・ソニー、元・サムスン電子、元・華為技術日本)

【習得できる知識】

- ・TIM材を主体とした放熱デバイスの特性と使い方
- ・ヒートシンクの仕様を決定するための方法論を学ぶ
- ・実際の商品における放熱設計への理解

放熱設計はかつての外気導入による対流主体の冷却から、熱伝導による筐体への熱移動による冷却に大きく変化してきた。また表面実装部品の増加により、電気・電子機器に使用される基板の様相が大きく変化してきている。基板を通した熱伝導が主体になってくると、そのための高性能な熱移動デバイスがますます必要となってくる。この数年、パッケージの高出力化に対応したTIM (Thermal Interface Material)の進化は目覚ましく、この分野への新規参入メーカーも絶えない。

本講座ではこの基板実装技術の進化に伴う放熱デバイスの使い方について、実際の商品の実例を示しながら詳しく解説していきたい。特にTIM材については、多種多様なTIM材から最適な製品をどのように選定すべきか悩むケースが多いが、単純にコストや熱伝導率だけではなく、熱の移動原理をきちんと把握することにより体系的な選択が出来るよう説明する予定である。

【プログラム】※内容を省略して掲載しております。詳細はHPでご確認下さい。

1. 最近の電気・電子機器における放熱設計の現状と課題
2. TIM(Thermal Interface Material)
 - 2.1 TIMの役割
 - 2.2 TIMにおけるフィラーの役割
 - 2.3 現在入手可能なTIM材とその特徴
 - 2.4 熱伝導シートの商品トレンド
 - 2.5 TIM材とピオ数
 - 2.6 TIM材の具体的な選定方法
3. TIMの高性能化
 - 3.1 炭素繊維鉛直配向熱伝導シート
 - 3.2 ソルダーTIM
4. 実際のTIMの使われ方
5. 空冷、液冷、液侵のそれぞれの冷却方式の特徴と課題
6. 質疑応答

【LIVE配信セミナーとは?】

- ・本セミナーは「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。「ミーティング用Zoomクライアント」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。ZOOM WEBセミナーのはじめかた (<http://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>) をご覧ください。
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますが、LIVE配信のみのセミナーです。
- ・お申込み後、接続テスト用のURL (<https://zoom.us/test>) から「ミーティングテストに参加」を押していただき動作確認をお願いします。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナー資料は前日までには、お送りいたします。タブレットやスマートフォンでも視聴できます。

『放熱設計【WEBセミナー】』セミナー申込書

< LIVE配信

アーカイブ配信 >

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>